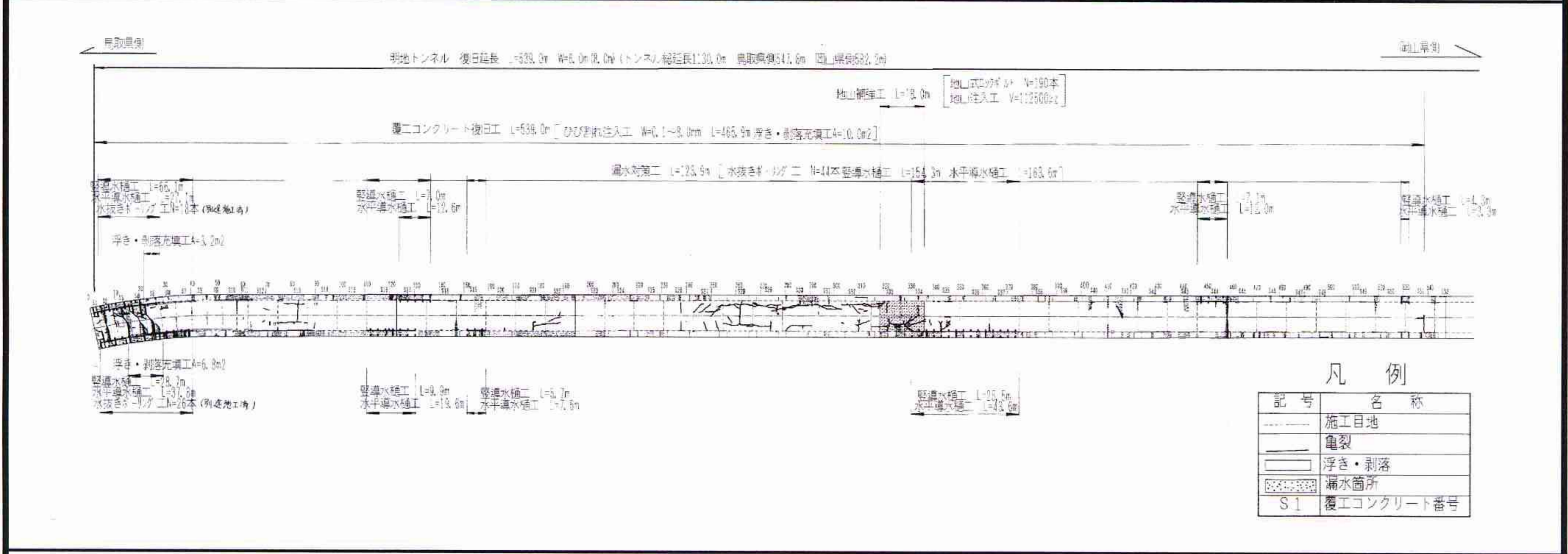
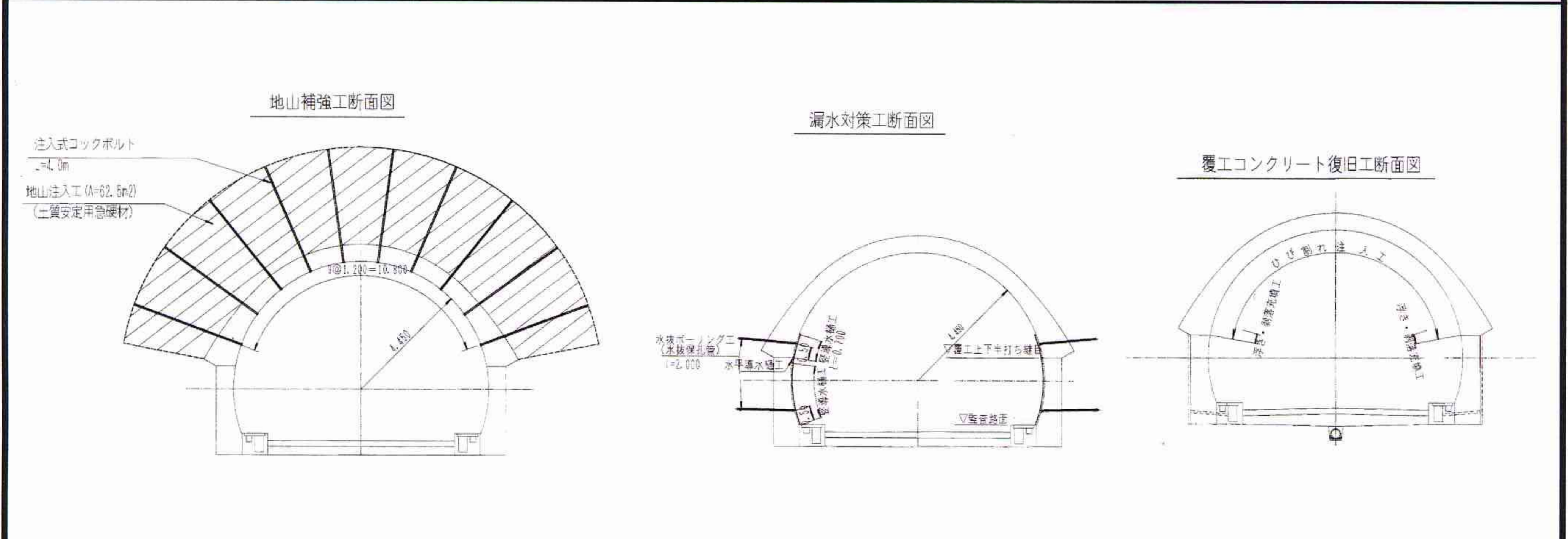


番号	12年災583号	震央からの距離	10.5 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 10.7' / 東経133° 25.4'
河川名・線路名等	一般国道180号(明地トンネル)	工事概要	※変状の著しい箇所についてはロックボルトにより補強し、その他漏水が生じた箇所については、水抜きボーリングを実施した。 <input type="checkbox"/> 地山補強工 L=4m/本×190本=760.0m <input type="checkbox"/> 地山注入工 V=112,500.0 ℓ <input type="checkbox"/> ひび割れ注入工 (W=0.1~8.0mm) L=465.9m <input type="checkbox"/> 剥落充填工 A=10.0m ² <input type="checkbox"/> 水抜きボーリング工 L=2m/本×44本=88.0m <input type="checkbox"/> 豎導水樋工 L=283.1m <input type="checkbox"/> 水平導水樋工 L=327.2m
施工位置	鳥取県日野郡日野町門谷		
工事名	トンネル災害復旧工事		
工事費	57,657千円		
被災状況及び形態	※土被りが薄いトンネル坑口部(鳥取県側)において、ヘアークラックが多数発生した。 ※鳥取県側坑口より250~350m区間ではスプリングラインを中心に多数の亀裂が発生し、ここから漏水が生じた。坑口以外でこの区間に変状の多い理由としては、「断層破碎帯」がトンネルのこの付近を横切っているためと考えられる。		

平 面 図 (S=1/3500)



標 準 断 面 図 (S=1/300)



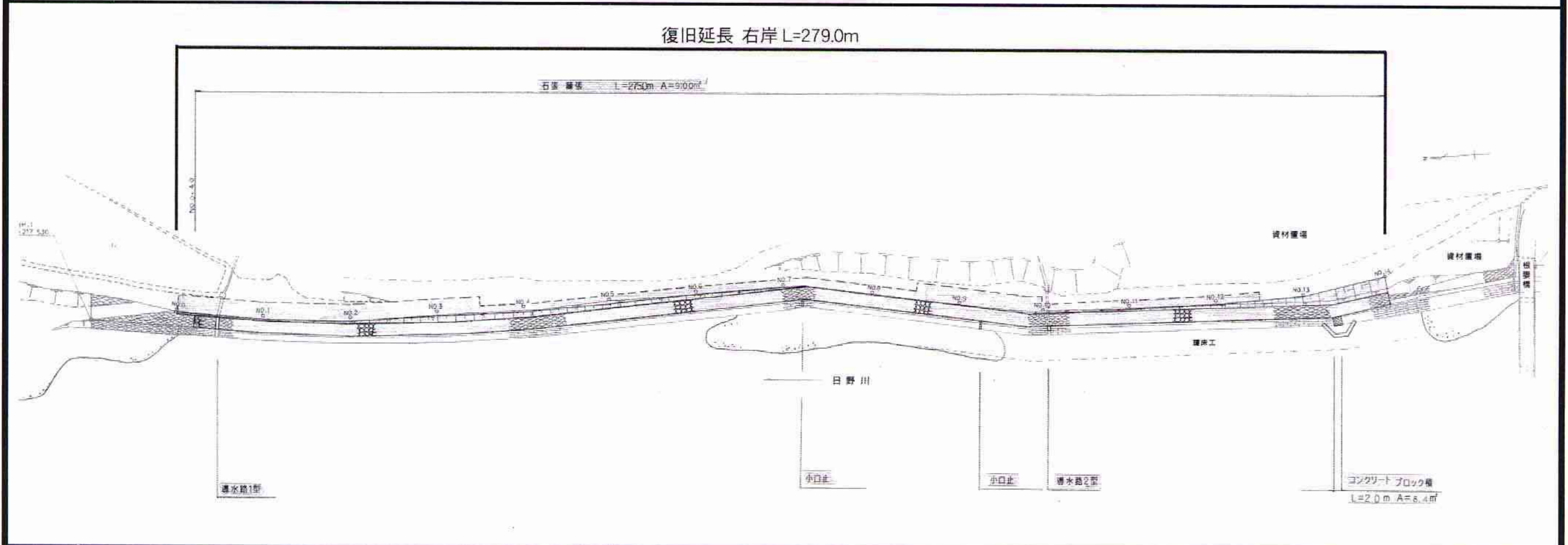
被 災 状 況 写 真

復 旧 状 況 写 真

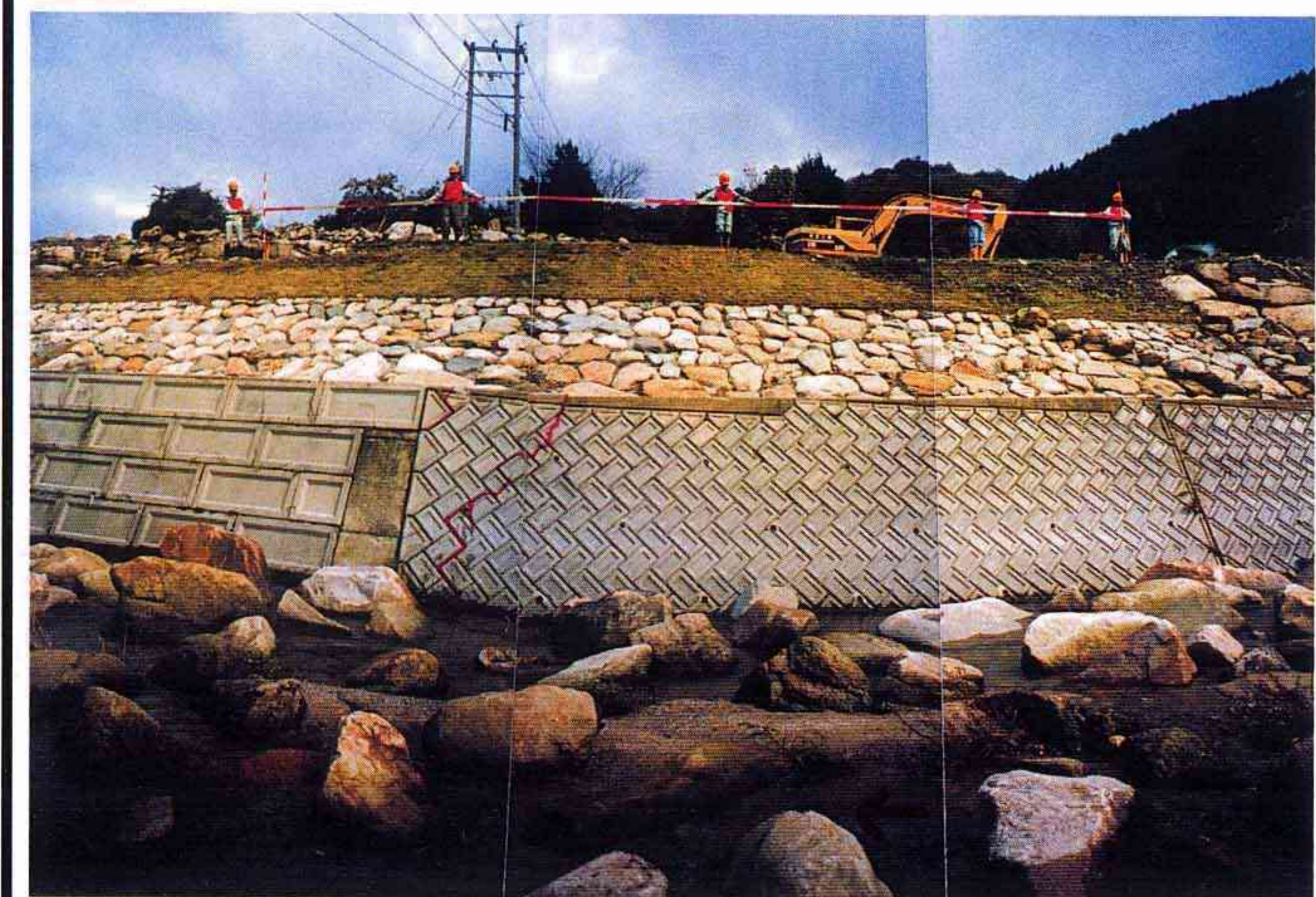


番号	12年災266号	震央からの距離	5.4 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35°13.1' / 東経133°23.8'
河川名・線路名等	一級河川日野川水系日野川右岸	工事概要 ※大きく変状した石張り工を積み直し復旧した。 <input type="checkbox"/> 練石張り工 (1:1.5, 控40cm) A = 910.0m ² <input type="checkbox"/> コンクリートブロック積工 A = 8.0m ² <input type="checkbox"/> 張芝工 A = 341.0m ²	
施工位置	鳥取県日野郡日野町根妻		
工事名	河川災害復旧工事		
工事費	34,467千円		
被災状況及び形態	※強い地震動により、堤防天端に亀裂や沈下が生じると共に、石積護岸や水路等にも損傷が生じた。		

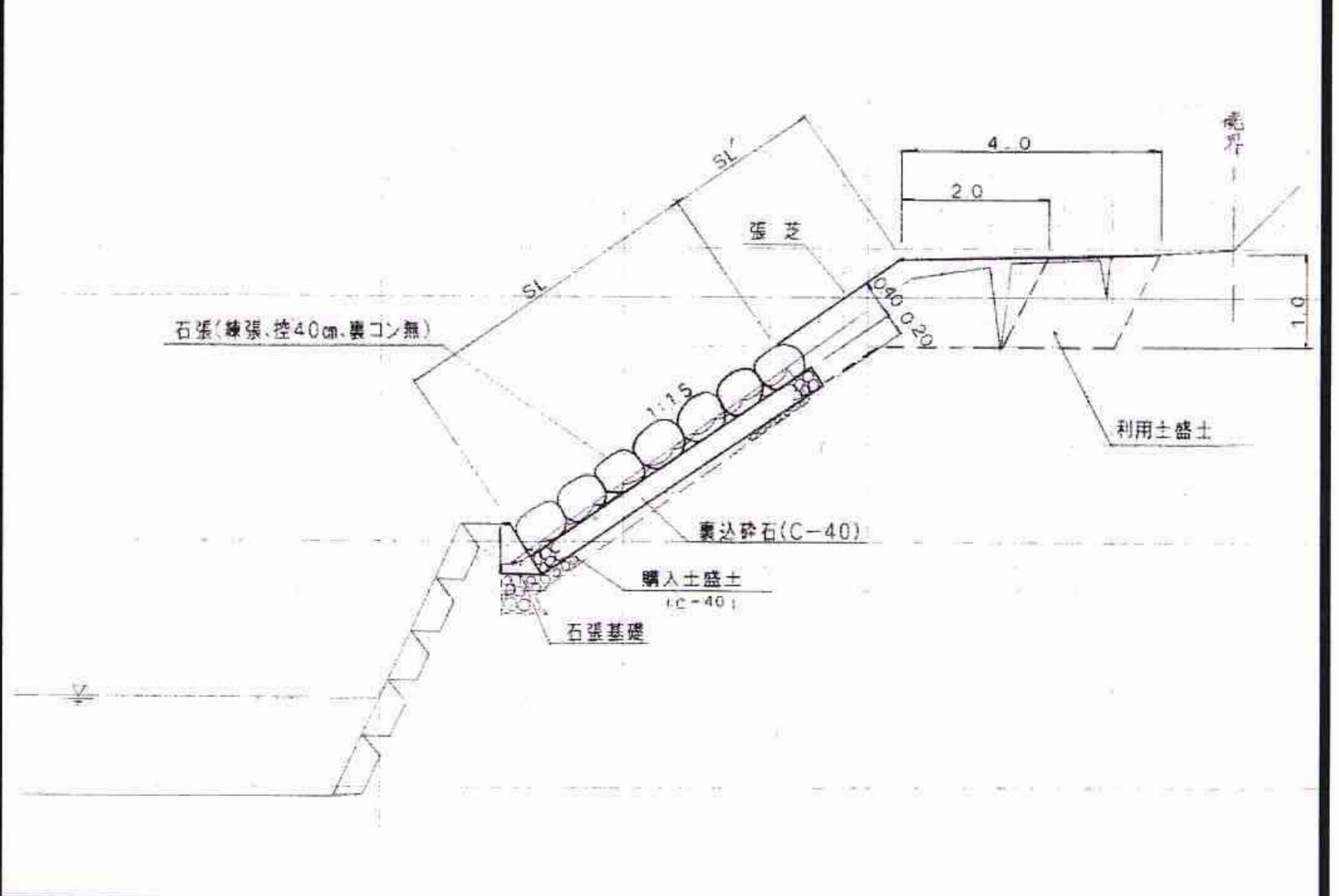
平面図 (S=1/2000)



被災状況写真



標準断面図 (S=1/150)

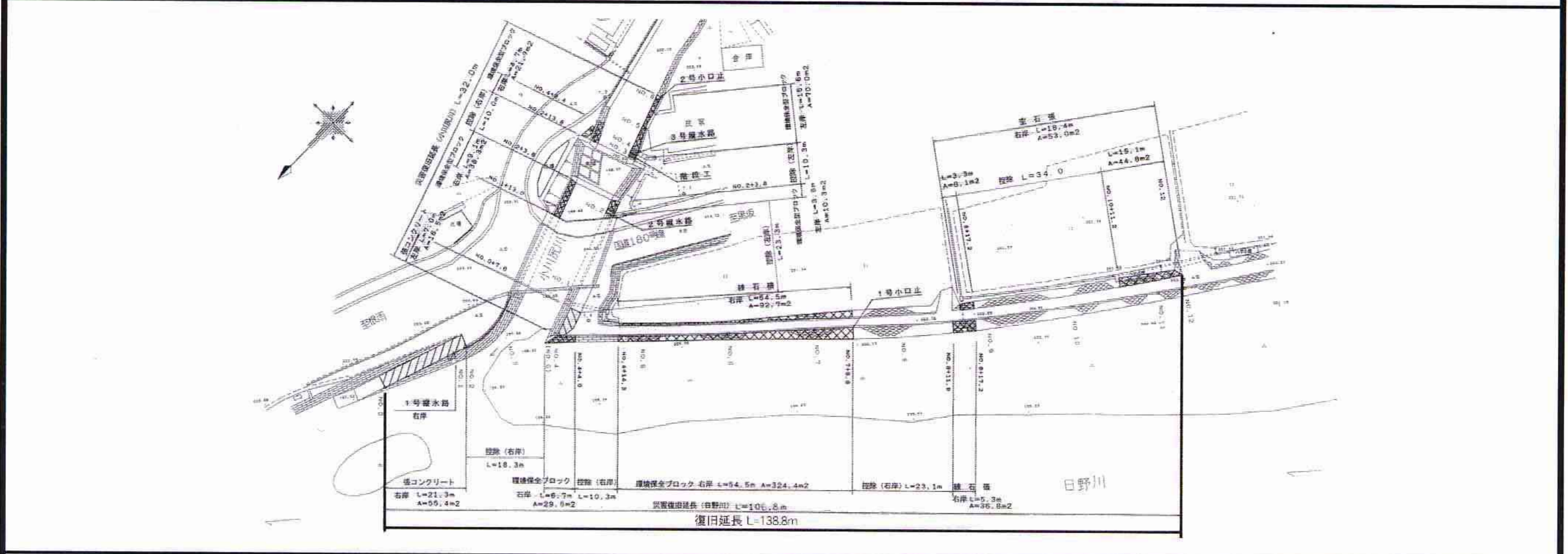


復旧状況写真

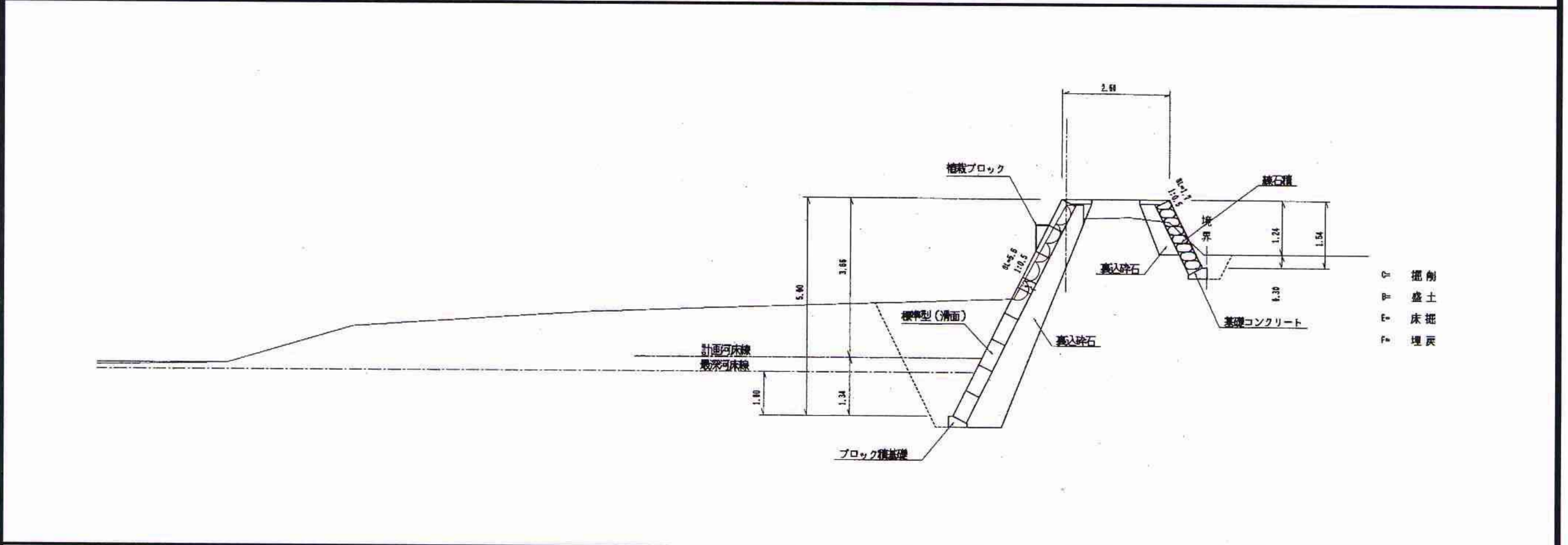


番号	12年災524号	震央からの距離	6.8 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 13.5' / 東経133° 25.4'
河川名・線路名等	一級河川日野川水系日野川外1左右岸	工事概要	※変状した護岸を撤去し、環境保全ブロック等を設置した。 <input type="checkbox"/> 環境保全型ブロック積工 (1:0.5) A = 497.0m ² <input type="checkbox"/> 空石張工 (1:0.5) A = 53.0m ² <input type="checkbox"/> 練石積工 (1:0.5) A = 93.0m ² <input type="checkbox"/> 練石積工 (1:0.5) A = 37.0m ²
施工位置	鳥取県日野郡日野町本郷		
工事名	河川災害復旧工事		
工事費	29,759千円		
被災状況及び形態	※強い地震動に伴い、堤防天端に亀裂、沈下が発生すると共に、ブロック積護岸に亀裂、崩落等が生じた。		

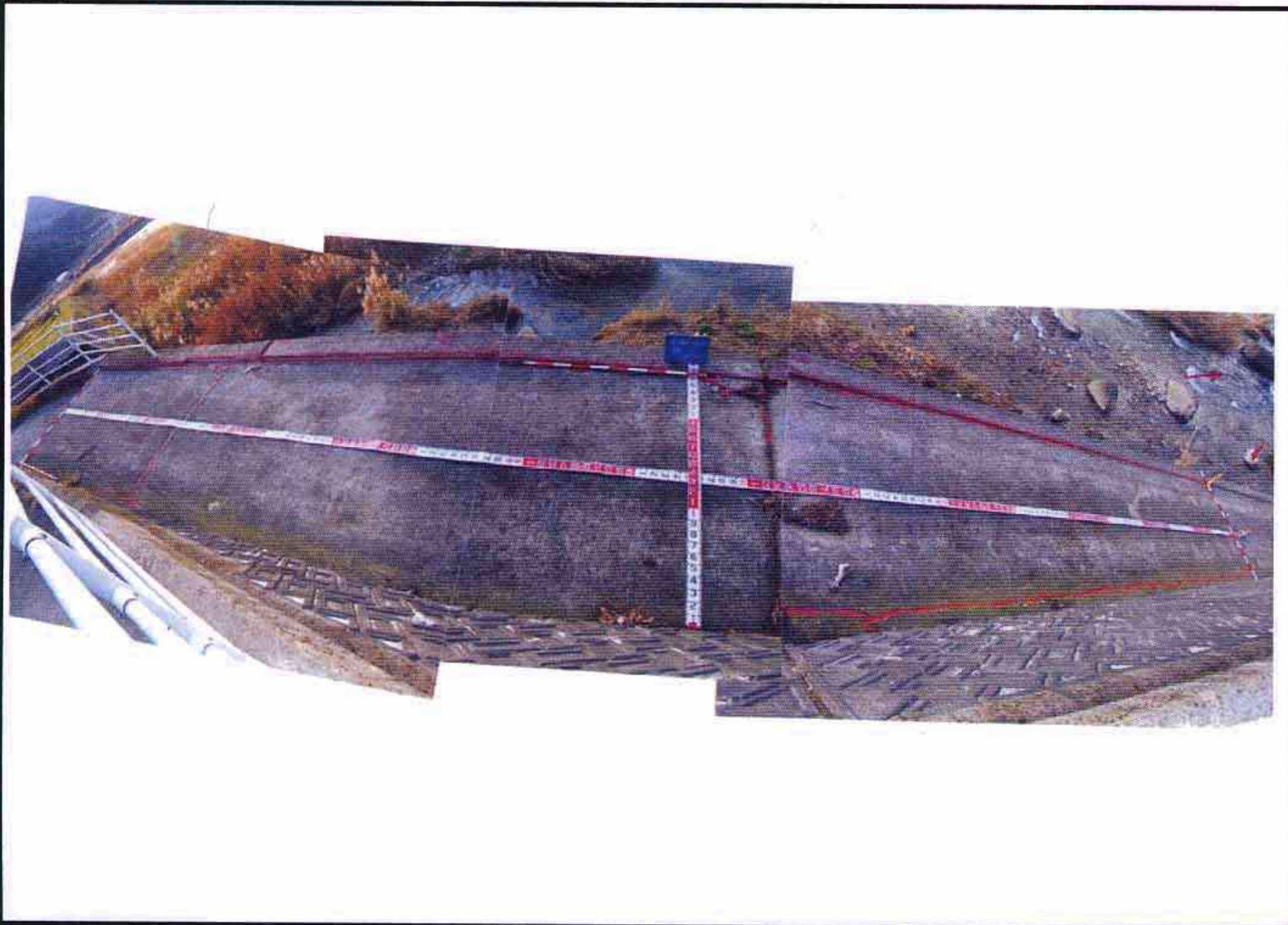
平面図 (S=1/2000)



標準断面図 (S=1/200)



被災状況写真

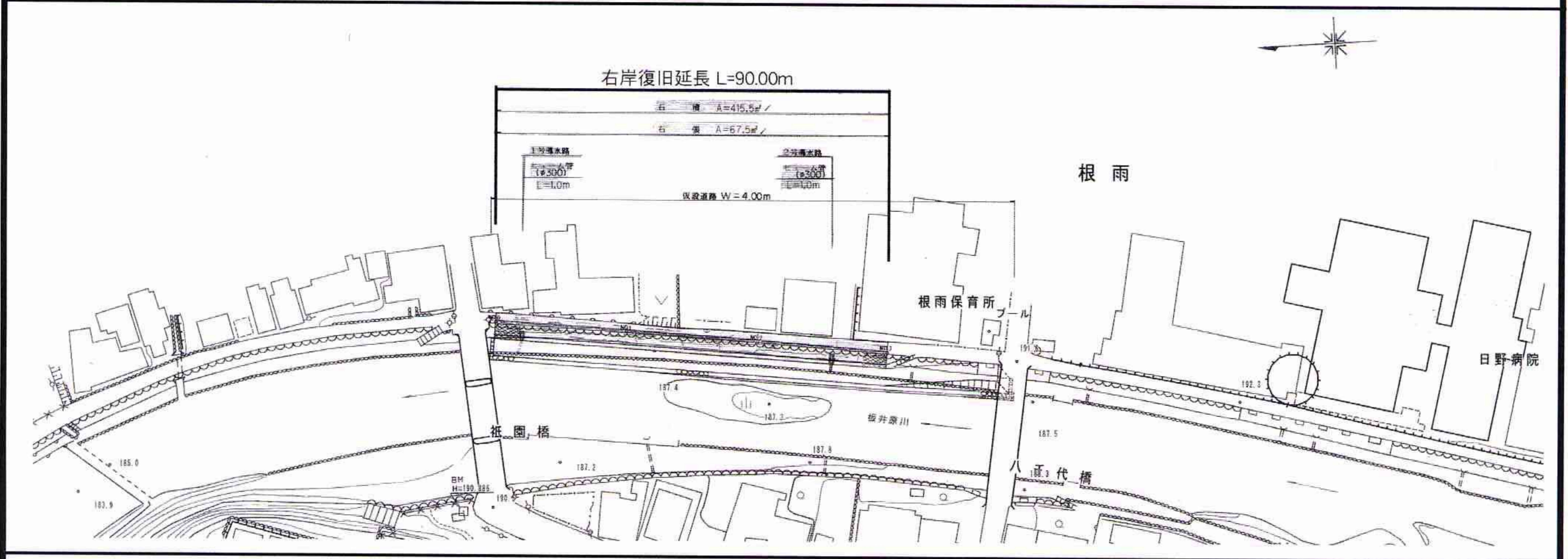


復旧状況写真

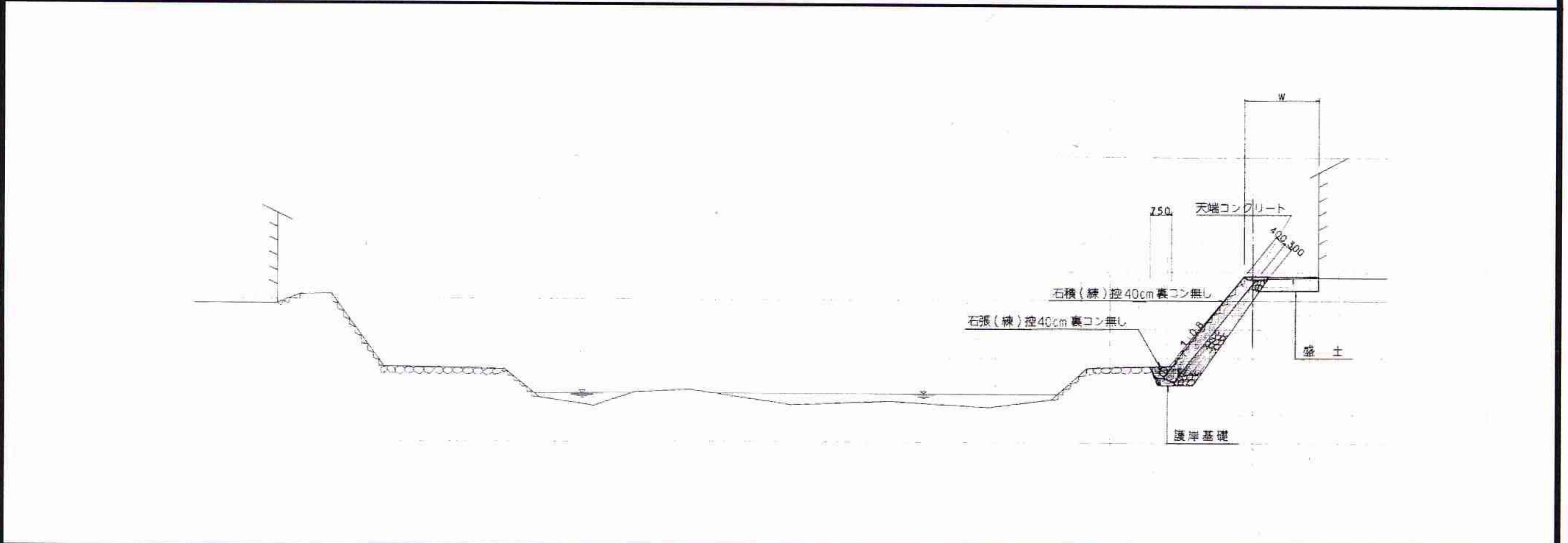


番号	12年災529号	震央からの距離	8.0 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 14.1' / 東経133° 26.6'
河川名・線路名等	一級河川日野川水系板井原川右岸	工事概要 ※変状の著しい石積護岸を撤去し、新たに石積工を配置した。 <input type="checkbox"/> 練石積工 (1:0.8, 控 40cm) A = 416.0m ² <input type="checkbox"/> 練石張工 A = 68.0m ²	
施工位置	鳥取県日野郡日野町根雨		
工事名	河川災害復旧工事		
工事費	25,370千円		
被災状況及び形態	※強い地震動に伴い、石積護岸に亀裂、崩落等が発生した。また、堤防天端にも亀裂、沈下が生じた。		

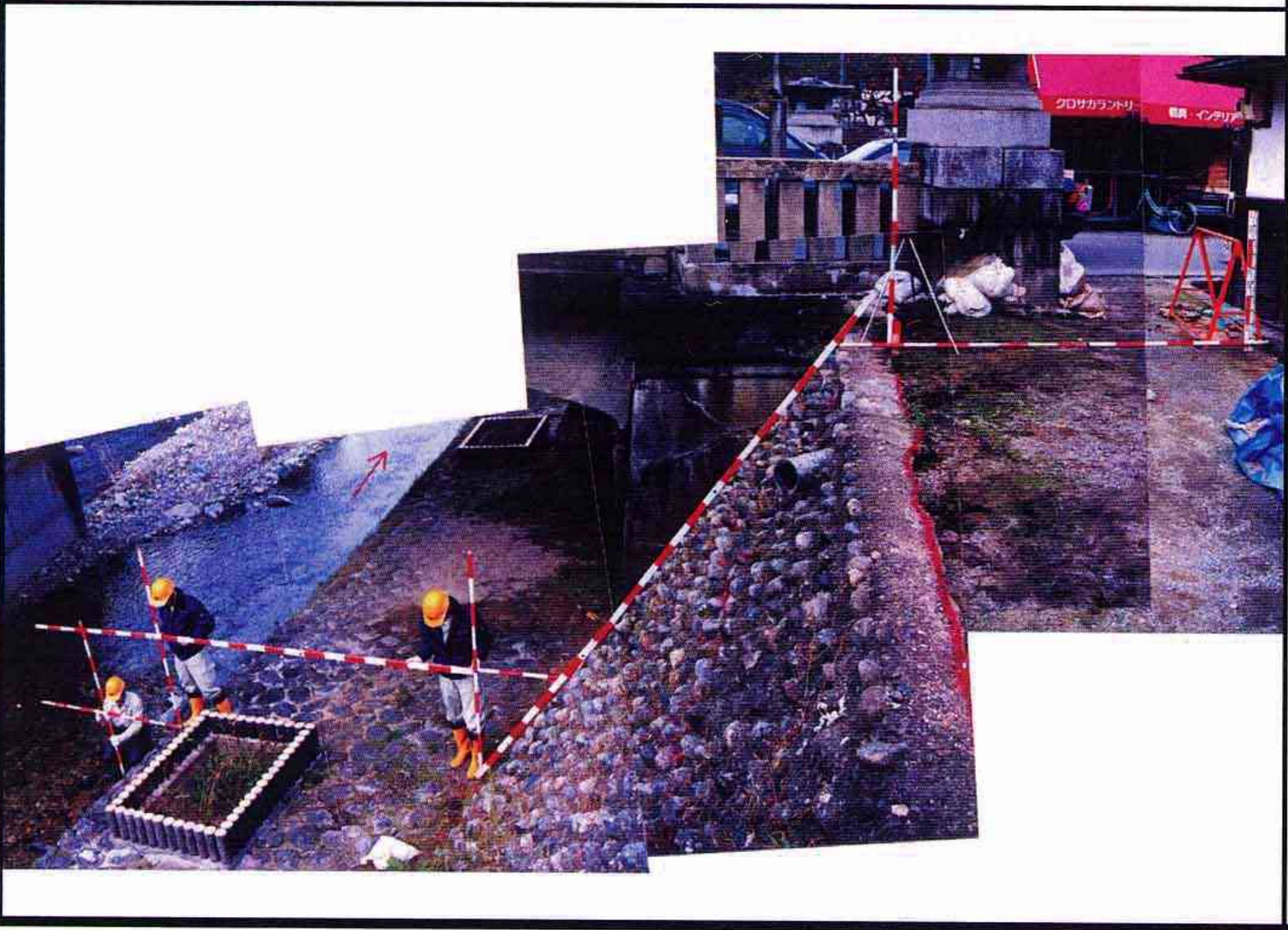
平面図 (S=1/2000)



標準断面図 (S=1/300)



被災状況写真



復旧状況写真

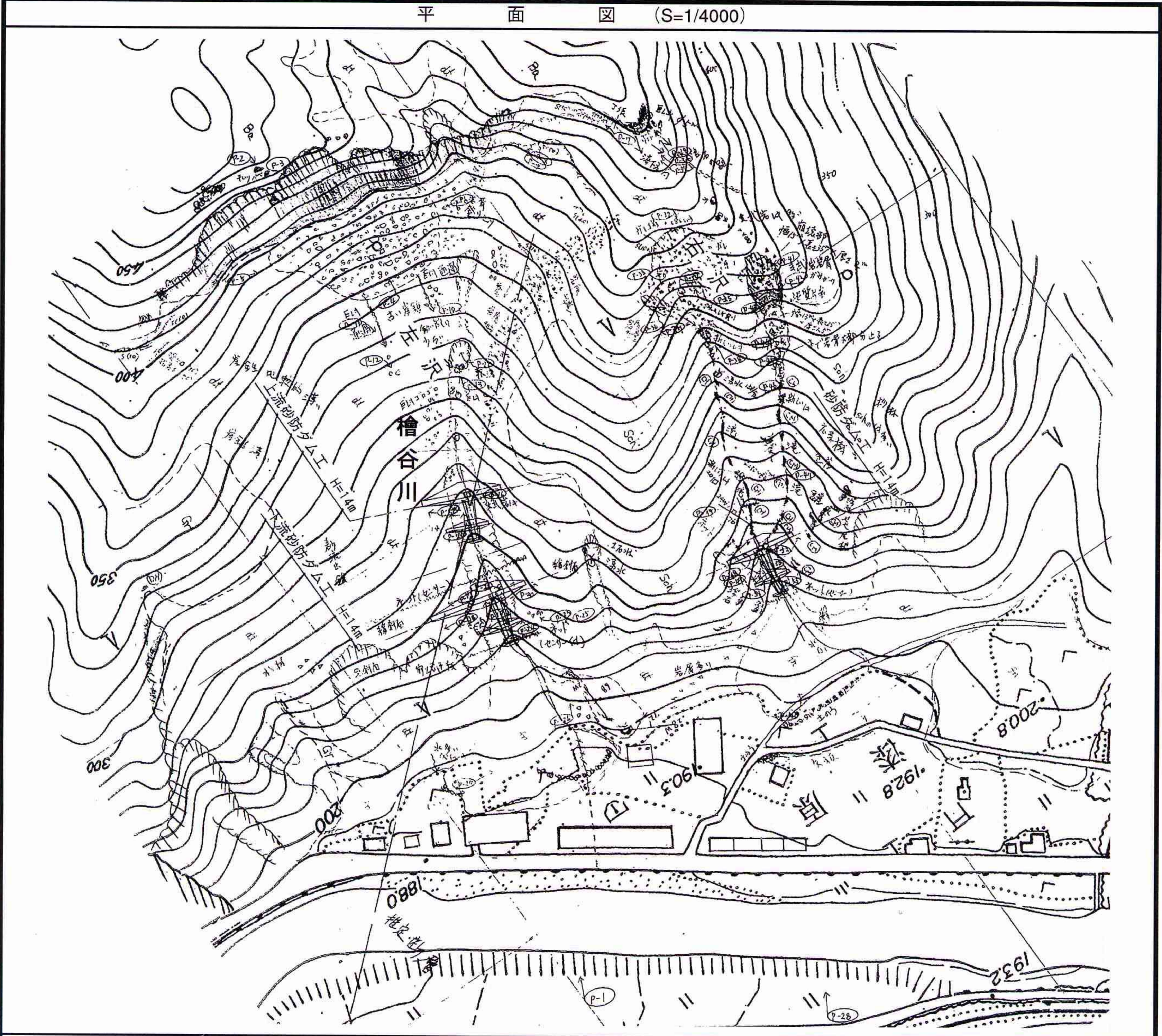


番 号	12年災第一号	震央からの距離	7.2 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35°14' / 東経133°25'
河川名・線路名等	一級河川日野川水系檜谷川	工事概要	<input type="checkbox"/> 計画諸元 ダム地点流域面積 : CA = 0.092km ² 不安定土砂量 : 7,660.0m ³ 計画貯砂量 (90%) : 6,900.0m ³ 清水ピーク流量 : 1.3m ³ /s 土石流ピーク流量 : 13.0m ³ /s <input type="checkbox"/> 土石流対策施設 (砂防ダム工) ①本堤工 ダム形式: 重力式コンクリートダム 堤高 : 14.0m 堤頂長 : 86.9m 堤体積 : 3,570.0m ³ ②第1垂直壁工 ダム形式: 重力式コンクリートダム 堤高 : 11.0m 堤頂長 : 37.0m 堤体積 : 1,170.0m ³ ③前庭保護工 (側壁工、水叩き工): 1式 ④工事用道路 延長 : 262.0m 縦断勾配: LEVEL ~ 16.0% 型式 : 補強土擁壁工 (最大擁壁高13.0m)
施工位置	鳥取県日野郡日野町本郷		
工事名	災害関連緊急砂防工事		
工事費	366,000 千円		
被災状況及び形態	<input type="checkbox"/> 被災状況 ・檜谷川の谷頭にあたる標高400~450mには急崖をなす柱状節理が発達しており、今回の地震によりこの部分において大規模な岩盤崩壊が発生した。これによって生産された岩塊は標高340m付近まで流出し現在まで不安定な状態にある。 <input type="checkbox"/> 不安定土砂量 7,660m ³	被災機構	<input type="checkbox"/> 工法選定理由 ・本川流域における不安定土砂が主に分布する標高は、標高300m以上であり、麓の国道・町道等からのアクセスが不可能で、斜面对策としての流出防止工事は困難を極めるのが明白なことから、土石流を待ち受ける砂防ダムを構築し、下流への土石流氾濫を防止する。
		復旧工法の考え方及び工法選定の理由	

被災状況写真



平面図 (S=1/4000)



復旧状況写真

